

5月28日第173回定例会が日本規格協会東北支部で開催された。参加者は14名であった。事務的内容を検討した後、次の事例について検討された。

(1)**ZINKプリンタ最適化のための評価方法の確立** アルプス電気(株) 徳田繁人

ZINKプリンタとはZINK用紙という発色層が織り込まれてある用紙を使用しカラー印刷をおこなうプリンタである。前回、前々回のアドバイスを元に用紙の評価装置を作成する事を決定したことの報告の後種々議論があった。評価装置は、従来のプリンタを使用した評価とは異なり用紙を外側からくわえて一定に搬送するときの負荷変動を測定するものである。構造はジグなどで使用する金属ブロックを使用し、製品ではバネ加重などで発生する内部変形等を無くすることができる。

(2)**プリント基板平面度の計算方法に関して** 井上 俊之 (株)ケーヒン

基板厚の薄型化に伴い組立工程中に基板の反り・撓み量が増加すると予測し、評価を検討している。形状をSN比で定義したい場合に適する算出方法を検討したいとの相談であった。
議事録:庄子 泰弘(アルプス電気(株))